

大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～（案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～（案）について
- (2) 募集期間 令和4年1月27日（木）から2月10日（木）までの15日間
- (3) 意見提出状況 提出意見：7件、提出者：4人、提出方法：書面3件・電子メール1件

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

No	意見の概要	回答（市の考え方）	修正箇所
1	下小池公衆トイレは、刈込池の入口であり、入山者も多いのでトイレがないことの不便はマイナスイメージが大きくなる。現状維持すべき。	刈込池に向かう際には、上小池駐車場に設置されている上小池公衆トイレや小池公園キャンプ場の管理棟トイレ、サニタリートイレの利用が可能であることから、40年以上前に設置された老朽化が激しい当該トイレを撤去しても支障はないものと考えています。	なし
2	市営バス関係の各地に点在する待合所について、現在も将来もバスなど公共の乗り物の利用がないようであり、沿線道路整備、除雪等により自動車の利便に費用を充てればよく、廃止すると良い。	市営バスは、現在、児童・生徒及び運転免許自主返納した自動車を運転できない高齢者の移動手段として必要であると考えています。 待合所については、維持費用はかかっていないため、安全性が確保できる期間は、現状維持としていきます。	なし
3	未活用の市有地について、方針が決まらないまま長期放置されている物件はあるようだが、売却可能なものは早く売却し、市街地近くの物件は、	宅地として利用可能な土地については、未利用となっている市有地の売却促進のため、公益社団法人福井県宅地建物取引業協会と「大野市保有土	なし

	<p>有償利用可能なものも積極的に利用すべき。放置により草刈り等を迫られる事態となると、市のイメージダウンにつながる。</p>	<p>地の仲介に関する協定」を締結しており、市内の宅建協会会員に積極的な売却の仲介依頼を行っています。</p> <p>その他の土地につきましても、未活用の土地の利活用方針を検討するとともに、不要な土地については売却するなど適正な管理を行っていきます。</p>	
4	<p>木本集落センターは、木本分校の合併記念に建てられたもので、5つの区でのコミュニティ施設であるため、解体はしないほしい。</p>	<p>令和5年度末まで指定管理を継続し、指定管理期間中に、施設の譲渡に向け、地元と協議を進めていきます。</p>	なし
5	<p>大野市文化会館について、施設設備の老朽化で休館になることはやむを得ないが、新文化会館の検討を早急をお願いします。また、休館中の各種諸行事の開催場所の確保をお願いします。</p>	<p>新文化会館等の整備に向けては、大野市文化会館整備基本計画の見直しや有利な補助制度の活用などの検討が必要となっていますが、コロナ禍の影響が懸念される中で、検討には相当の時間を要すると見込まれます。市民にとって真に必要な施設を将来世代につなげていけるよう、検討を進めていきます。</p> <p>現在の文化会館が休館となった場合の各種諸行事開催への影響については、最小限に留めるよう対応していきます。</p>	なし
6	<p>文化会館はとても大事な施設であり、活動場所であり、楽しむ場所であると思う。</p> <p>できるかぎり休館を短くする計画で、大野市にとってあまり負担のかからないシンプルでかわ</p>	<p>大野市文化会館整備基本計画において、新文化会館は、まちの文化芸術振興の拠点として、だれもが気軽に集うことができ、地域の文化芸術を守り育て、ふるさとへの誇りを一層高める役割を担</p>	なし

	<p>いい施設、ちょっと寄ってみたくなるような若者や子どもを楽しませる複合施設の新築をお願いします。</p>	<p>い、舞台や練習室、情報・展示コーナーなどの機能を備えた施設としています。新文化会館等の整備に向けての検討には、コロナ禍の影響が懸念される中、相当の時間を要すると見込まれますが、市民にとって真に必要な施設を将来世代につなげていけるよう、検討を進めていきます。</p> <p>現在の文化会館が休館となった場合の影響については、最小限となるよう対応していきます。</p>	
7	<p>廃校となる学校施設や跡地を学校教育の遺産の施設にしていったらどうか。</p>	<p>学校再編により廃校となった学校の歴史については、統合後の学校で十分引き継いでいきたいと考えており、小中学校の再編により使用しなくなる校舎やグラウンドなどの活用については、それぞれの地域等との協議を進めながら検討し、方向性を決めていきます。</p>	なし